

↓ 戸惑って困っていたのです！ 自分が慣れ親しんだ土地や場所で、今までどおりに思うとおりのやり方でものごとを進めることができれば、人は「困ること」はありません。「知らないことを始めて体験する」「自分が思うとおりにできない」「前までできたことができなくなった」ときに困ることが多いはずです。

みなさんもお仕事柄「困った人」を身近で目にすることがあると思います。「言うことを聞いてくれない」「ルールを守ってくれない」「周囲の人に迷惑を掛ける」など。しかし、その「困った人」はじつは「何かに困っている人」の可能性が

あります。

「言われたようにしようと努力しているのにできない」「言われたことが思い出せない」「自分でできるはずだったのにできなくなった」.....もしかしたら本人がいちばん困って泣きたい気持ちになっているかもしれません。年を重ねると若いころには思いもしなかったことが自分自身に起こりはじめます。その戸惑いがうまく入れられなくて周囲に迷惑を掛けてしまうこともあるでしょう。

「困った人」は「何か困っているのではないか」。そんな視点が課題解決の糸口になることもあるのではないのでしょうか。

#### 〈著者プロフィール〉 松井貴彦 (まついたかひこ)



特定非営利活動法人いきいきライフ協会理事 一般社団法人看護職キャリア開発協会 ライフキャリアコンサルタント。同志社大学文学部心理学専攻(現 心理学部)卒。株式会社リクルートにて編集マネージャー、週刊ピーピング副編集長。1994年より株式会社メディカ出版にて編集部門、管理部門、

臨床教育ソリューション部門、販売企画部門責任者、株式会社保育社の代表取締役など歴任。現在は人材育成、組織活性化を中心に、より良く生きるキャリア選択のコンサルティングを専門分野とする。著書に「家で死ぬる幸せ」(2021年刊)ほか。

## なな一る訪問看護ステーションだより

### 新年あけましておめでとうございます

2023年もなな一る訪問看護ステーションは、地域の皆様の人生の伴走者となり「来てくれたらほっとする」と言っていただけのような看護を目指して精進をまいります！本年もなにとぞよろしくお願ひいたします。



### なな一るカフェにも、ぜひお立ち寄りください♪

なな一るカフェでは、1月からも様々な地域の触れ合いの場をご提供いたします。

○出張駄菓子 毎週水曜14:00~17:00ごろ  
気さくなおばちゃんやスタッフと会話しながらくつろぎタイム♪

○ほっこり和紅茶の会 第一木曜(不定期開催)  
丁寧に入れられた和紅茶を楽しみながらその場で出会った人との会話を楽しむ会

○なな一る寺子屋/自習室(不定期開催)  
大学生主催のオンライン学習支援サービス「阪大寺子屋」との協働で完全無料で勉強をサポート！あいてる時間は自習室としても利用できます。

○街の保健室 毎週木曜13:30~15:00  
看護師に健康相談やスタッフとのたわいもない会話等

【なな一るカフェ】  
豊中市熊野町3-3-47  
(グループホームいきいき東豊中内)



詳しくはこちら  
をご覧ください

なな一る通信

